

(2023年6月27日現在)

## ■ 会社概要

|                        |   |
|------------------------|---|
| 商号                     | こころネット株式会社                                |
| 発足                     | 2006年4月<br>[当社の前身である(有)菅野石材工業の設立は1966年3月] |
| 所在地                    | 福島県福島市鎌田字舟戸前15番地1                         |
| 代表者                    | 代表取締役会長 齋藤 高紀<br>代表取締役社長 菅野 孝太郎           |
| 資本金                    | 500百万円                                    |
| 決算日                    | 3月31日                                     |
| 従業員数<br>(2023年3月31日現在) | グループ: 507名 [外、臨時従業員20名]<br>単体: 30名        |
| 事業内容                   | グループ運営にかかる経営戦略企画、業績管理、不動産管理、総務・経理・人事等の管理  |

## ■ 役員

|         |        |                  |       |
|---------|--------|------------------|-------|
| 代表取締役会長 | 齋藤 高紀  | 取締役              | 伊藤 信弘 |
| 代表取締役社長 | 菅野 孝太郎 | 取締役<br>(常勤監査等委員) | 加藤 重光 |
| 取締役     | 澤田 正晴  | 取締役<br>(監査等委員)   | 菅野 晴隆 |
| 取締役     | 熊坂 秀一  | 取締役<br>(監査等委員)   | 鈴木 一徳 |
| 取締役     | 羽田 和徳  |                  |       |

## ■ 株主メモ

|                      |  |
|----------------------|--|
| 上場市場                 | 東京証券取引所スタンダード市場  |
| 上場日                  | 2012年4月25日   |
| 証券コード                | 6060   |
| 事業年度                 | 4月1日から3月31日まで  |
| 定時株主総会               | 6月中  |
| 株主確定基準日              | 3月31日  |
| 剰余金の配当の基準日           | 3月31日、9月30日  |
| 株式の売買単位              | 100株   |
| 公告掲載方法               | 電子公告の方法により行います。<br>ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載を行います。<br>電子公告掲載URL: <a href="https://cocolonet.jp/">https://cocolonet.jp/</a> |
| 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社  |
| 同連絡先                 | 〒183-0044<br>東京都府中市日鋼町1-1<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>TEL 0120-232-711 (通話料無料)   |
| 各種事務手続き              | 詳しくは、三菱UFJ信託銀行のHPページにてご確認ください。<br><a href="https://www.tr.mufg.jp/daikou/">https://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>                                      |



感動のある人生を。

こころネットグループ

証券コード 6060

# 株主の皆様へ

2023年3月期のご報告



こころネット株式会社  
〒960-0102 福島県福島市鎌田字舟戸前15番地1  
TEL 024-573-6556 FAX 024-573-6560 HP <https://cocolonet.jp/>



※環境に配慮して再生紙と植物由来のインクを使用しています。

# 成長をスパイラルアップするフレームづくりを 推し進め、選ばれる成長企業へ邁進する。



私たちは、人々の「こころ」に満足と安らぎをもたらす  
サービスを提供いたします。

－ グループ理念 －

代表取締役社長  
菅野 孝太郎



**Q1** 当期の業績と次期の見通しをお教えてください。

前期に引き続き業績回復が継続し、増収及び  
営業増益となりました。

当期(2023年3月期)における経営環境は、コロナ禍における行動制限の緩和や各種政策の効果等により、経済社会活動に回復の動きが見られました。その一方で、国際情勢の影響等から世界的なサプライチェーンの混乱が続き、エネルギー価格や原材料価格の高騰、為替変動等が継続しました。

このような環境の下、葬祭事業における参列の自粛や会食利用の減少、婚礼事業における挙式・披露宴の自粛や縮小等は、コロナ禍前の水準まで回復しておらず、葬儀・婚礼の小規模化や婚礼の需要減少が継続しましたが、両事業ともに業績は前期よりも改善の方向に向かいました。また、石材事業では、海外における原石の在庫不足、仕入原価の上昇及び石材商品の入荷遅延等が継続しました。

このような状況の下、当期の連結業績は、葬祭事業を中心にすべてのセグメントで増収となり、売上高は前期比10.2%増、営業利益は同109.4%増、経常利益は同95.8%増と、増収増益を果たすことができました。親会社株主に帰属する当期純利益について

は、婚礼会場3施設の閉館及び当該固定資産の譲渡並びに撤去の決定に伴い、法人税等調整額(益)を計上したものの、減損損失の計上が大きく影響し、同13.8%増にとどまりました。

セグメント別の状況を見ると、葬祭事業では、葬祭会館の新規出店として「とわノイエ 黒岩」、「こころ斎苑 飯坂 家族葬ホール」、「とわノイエ 八木田」の3施設の開設、葬祭会館のリノベーションとして「こころ斎苑 きずな」の改築を行う等、営業規模の拡大と競争力の強化を図りました(詳細はP3-4参照)。また、広告宣伝による事前相談への誘致、オプション品の販売促進による葬儀施行の単価向上、法事・仏壇仏具の販売や葬儀施行後の会員募集によるアフターフォロー営業の強化等に注力し、葬儀施行件数及び法事・仏壇仏具の受注等が前期よりも増加した結果、増収増益となりました。石材事業では、石材卸売・石材小売の両方で、販売促進活動や提案営業に注力するとともに、販売価格の見直しや単価向上に取り組み、石材卸売単価及び墓石建立単価等が前期よりも増加しましたが、仕入原価が上昇したことから、増収ながらも減益となりました。婚礼事業では、事業環境の変化等を踏まえ、ゲストハウス「アニエス郡山」を閉館したことに加え、次期(2024年3月期)においてゲストハウス「アニエス会津」、総合婚礼会場「クーラクーリアンテ サンパレス」の2施設を閉館することを決議し、営業

規模の適正化を進めました(詳細はP5参照)。一方で、広告宣伝による新規来館への誘致、高付加価値な婚礼形式の訴求やオプション品の販売促進による婚礼施行の単価向上、宴会の受注促進等に注力し、婚礼施行単価や宴会施行件数等が前期よりも増加した結果、増収及び営業損失の縮小に至りました。

今後の見通しにつきましては、ウィズコロナの下で国内景気の持ち直しが期待されますが、引き続き海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクに注視する必要があります。このような環境の下、次期(2024年3月期)の連結業績は、事業ポートフォリオの見直しが進展し、婚礼事業で営業規模の適正化により減収となる一方、葬祭・石材・生花事業で業容拡大による増収を図るとともに、人的資本への投資や設備投資を含む経営資源の配分を実行すること等により、売上高は前期比1.2%増、営業利益は同0.2%増を見込んでおります。

| ■ 連結業績の推移 (単位:百万円)         | 2021/3<br>(実績) | 2022/3<br>(実績) | 2023/3<br>(実績) | 2024/3<br>(予想) |
|----------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 売上高                        | 7,986          | 8,675          | 9,562          | 9,680          |
| 営業利益                       | 86             | 297            | 623            | 625            |
| 経常利益                       | 153            | 341            | 668            | 670            |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益又は損失(△) | △ 864          | 131            | 149            | 420            |

**Q2** 当期よりスタートした第4次中期経営計画の進捗状況をお教えてください。

「成長をスパイラルアップするフレームづくり」を  
基本方針とし、重点施策に取り組んでおります。

当社グループは、長期的な視点を持った経営を推し進めるべく、グループ理念の元、「2030年ビジョン」を策定し、こころネットグループが創る社会的価値を「人々の『心身ともに健やかな生活づくり』への貢献」、「『人々がこころの安らぎを感じる豊かな社会づくり』への貢献」、「生産性向上による経済発展への貢献」と明確化しております。この実現に向け、当期より「第4次中期経営計画」

をスタートし、大きな環境の変化に対応した新たな成長戦略を推し進めていくための「フレームづくり」に取り組んでおります。

具体的には、マーケティングの高度化に向けた「攻めのDX」の基礎づくりや、生産性向上の加速に向けたワークアウトの体系化・浸透及び「守りのDX」の基礎づくり等を推進しました。また、戦略的アセットマネジメントとして、婚礼会場3施設の閉館を進めるとともに、葬祭会館3施設の新規出店及び1施設のリノベーション等を実施し、計画的スクラップ&ビルドを推し進めました。更に、コーポレートガバナンスの充実を図るため、業務執行取締役に対する譲渡制限付株式報酬制度の導入や、取締役会の実効性評価に向けた対応及びレジリエンシーの高いリスクマネジメント体制の構築等を進めました。

**Q3** 最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

株主の皆様のご支援の下、選ばれる成長企業へ  
変革することを目指して邁進してまいります。

株主の皆様への利益還元につきましては、安定した配当を継続的に実施することを基本方針とし、上場以来、年間配当30円を継続してまいりました。当期におきましても、1株当たり30円(中間15円、期末15円)とさせていただきます。次期も同額を予定しております。

当社グループを取巻く事業環境は、少子高齢化による需要への影響、時流の変化による儀式・埋葬の形態の多様化、価値観や生活様式の変化に伴うお客様ニーズの変化、異業種からの業界参入等、今後も変化の激しい状況が継続すると予想されます。このような環境の下、「2030年ビジョン」の実現に向け、「第4次中期経営計画」の目標を達成し、選ばれる成長企業へ変革することにグループ一丸となって取り組んでまいります。

株主の皆様には、引き続き当社グループの経営にご理解、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

## 変化するニーズに対応し、 選ばれ続ける葬祭事業会社へ

当社の連結子会社である株式会社たまのや及び株式会社北関東互助センターは、福島県、茨城県及び栃木県において葬祭会館33施設を展開しており、家族葬等の小規模葬儀から大規模葬儀まで対応可能な体制を構築しております。近年においては、葬祭会館の需要が定着している一方、葬儀規模は縮小傾向にあり、従来の葬送儀式よりも「家族葬」や「自分らしい葬儀」を希望する等、利用者のニーズは多様化しております。

このような環境の下、当社は、「第4次中期経営計画」(2023年3月期～2025年3月期)の事業別施策において、葬祭会館の戦略的新規出店等により「営業規模の拡大」を図るとともに、葬祭会館の計画的リノベーション等により「競争力の強化」を図ることとしております。

当該施策に基づき、当期は、安置施設「とわノイエ 黒岩」、家族葬専用葬祭会館「こころ斎苑 飯坂 家族葬ホール」及び「とわノイエ 八木田」(いずれも福島県福島市)の3施設を新規出店するとともに、家族葬専用葬祭会館「こころ斎苑 きずな」(福島県福島市)及び「とわノイエ やなせ」(栃木県宇都宮市)の2施設のリノベーションやリブランド等を実施いたしました。

当社は、今後も施設面での充実を図るとともに、利用者のニーズを的確に捉えたサービスを提供し、選ばれ続ける葬祭事業会社を目指してまいります。



詳しくはこちら  
【たまのや】  
公式Webサイト

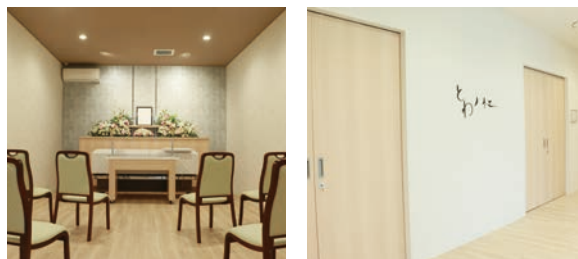


詳しくはこちら  
【北関東互助センター】  
公式Webサイト

NEW

新規出店①

「とわノイエ 黒岩」

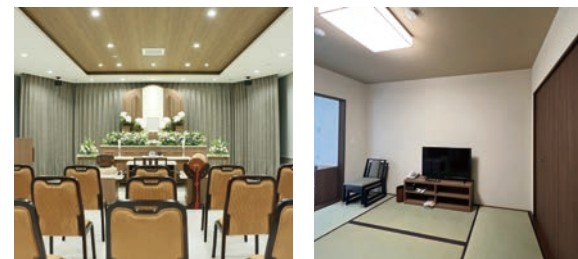


|       |   |
|-------|---|
| 所在地   | 福島県福島市黒岩字堂ノ後65番地1   |
| 施設タイプ | 安置施設  |
| 開設    | 2022年7月10日  |
| 施設の特徴 | ①安置室<br>同時に4組までの直接安置が可能<br>個室完備により気兼ねなく故人との面会が可能<br>10名様までのお見送りに対応<br>②その他<br>宗旨宗派不問、全面バリアフリー |

NEW

新規出店②

「こころ斎苑 飯坂 家族葬ホール」



|       |   |
|-------|---|
| 所在地   | 福島県福島市飯坂町平野字堂天前5番地2   |
| 施設タイプ | 家族葬専用葬祭会館   |
| 開設    | 2022年12月23日   |
| 施設の特徴 | ①セレモニーホール<br>参列者数最大30名の家族葬・一日葬に対応<br>宗旨宗派不問、直接安置が可能<br>②遺族控室<br>自宅感覚で寛ぎながら故人のお見送りが可能<br>シャワールーム完備でご遺族の宿泊も可能 |

NEW

新規出店③

「とわノイエ 八木田」



|       |  |
|-------|--|
| 所在地   | 福島県福島市八木田字中島77番地1  |
| 施設タイプ | 家族葬専用葬祭会館  |
| 開設    | 2023年3月25日   |
| 施設の特徴 | ①セレモニーホール<br>参列者数最大15名の家族葬・一日葬に対応<br>宗旨宗派不問、直接安置が可能<br>②遺族控室<br>自宅感覚で寛げる広々としたリビング<br>シャワールーム完備でご遺族の宿泊も可能 |

TOPICS 1 婚礼会場3施設の閉館

当社は、「第4次中期経営計画」(2023年3月期～2025年3月期)の重点施策「経営資源の集中と深化」の中に「戦略的アセットマネジメント」を掲げ、「計画的スクラップ&ビルド」を推進することとしております。

当期は、婚礼事業において、2022年6月30日をもって「アニエス郡山」を閉館するとともに、2023年11月30日に「アニエス会津」、2024年3月31日に「クラークリアンテ サンパレス」を閉館することを決議し、営業規模の適正化を推し進めました。

婚礼事業では、兼ねてより不採算施設の見極めが課題となっておりました。当該3施設の閉館は、時流の変化による婚礼需要の減少、コロナ禍以降における事業環境の変化、建築設備の更新によるコスト負担の増加等を総合的に勘案した結果、今後の採算面の確保が難しいと判断し、選択と集中及び経営資源の適正配分を図ることとしたものです。

当社は、収益性及び成長性を踏まえ、今後も事業ポートフォリオの見直しを進めてまいります。

■ 閉館施設

| 名称                | 所在地      | 施設タイプ  | 施設規模       | 閉館日             |
|-------------------|----------|--------|------------|-----------------|
| アニエス郡山            | 福島県郡山市   | ゲストハウス | 2式場・2バンケット | 2022年6月30日      |
| アニエス会津            | 福島県会津若松市 | ゲストハウス | 1式場・2バンケット | 2023年11月30日(予定) |
| クラークリアンテ<br>サンパレス | 福島県福島市   | 総合婚礼会場 | 2式場・4バンケット | 2024年3月31日(予定)  |



アニエス郡山



アニエス会津



クラークリアンテ サンパレス

TOPICS 2 固定資産の譲渡及び撤去並びに特別損失(減損損失)の計上

当社は、前頁「TOPICS 1」の内容のとおり、当社の連結子会社である株式会社With Weddingが運営する婚礼会場3施設を閉館することいたしました。当該固定資産は、当社グループ内で活用する見込みがないことから譲渡及び撤去を決定いたしました。

また、当該固定資産の譲渡及び撤去の決定に伴い、合理的な算定を行った結果、当期において、減損損失として517百万円(アニエス郡山:116百万円、アニエス会津:172百万円、クラークリアンテ サンパレス:228百万円)を特別損失に計上いたしました。

■ 当該固定資産の内容

| 名称                | 資産の概要                             | 現況    | 今後の予定                       |
|-------------------|-----------------------------------|-------|-----------------------------|
| アニエス郡山            | 土地4,972.46㎡:譲渡<br>建物2,119.99㎡:撤去  | 遊休不動産 | 物件引渡:2023年7月<br>(更地による引渡し)  |
| アニエス会津            | 土地4,945.75㎡:未定<br>建物1,710.40㎡:撤去  | 婚礼会場  | 撤去開始:2023年12月<br>(土地の今後は未定) |
| クラークリアンテ<br>サンパレス | 土地2,998.51㎡:譲渡<br>建物10,772.80㎡:譲渡 | 婚礼会場  | 物件引渡:2024年4月<br>(土地・建物を引渡し) |

(注)譲渡価額・撤去費用等の詳細については非開示。

TOPICS 3 レジリエンシーの高いリスクマネジメント体制の構築

当社は、「第4次中期経営計画」(2023年3月期～2025年3月期)の重点施策「経営基盤の強化」の中に「コーポレートガバナンスの充実」を掲げ、「レジリエンシーの高いリスクマネジメント体制の構築」を図ることとしております。

当期は、事業継続マネジメント(BCM)ガイドラインの整備、リスク管理委員会における役割の見直し、BCM活動の年間スケジュール策定等を進め、より体系的かつ継続的・発展的なリスク管理体制への移行を図りました。

なお、当社における事業継続マネジメント(BCM)基本方針については、当社ウェブサイトに掲載しております。



■ 連結貸借対照表(要旨)

※単位はすべて百万円、百万円未満は切捨てて表示。

|             | 前期末<br>2022年3月31日現在 | 当期末<br>2023年3月31日現在 |
|-------------|---------------------|---------------------|
| <b>流動資産</b> | 4,616               | 5,574               |
| 現金及び預金      | 3,424               | 4,005               |
| 受取手形        | 8                   | 14                  |
| 売掛金         | 478                 | 540                 |
| 有価証券        | 23                  | 275                 |
| その他         | 681                 | 737                 |
| <b>固定資産</b> | 13,918              | 13,072              |
| 有形固定資産      | 8,553               | 8,007               |
| 無形固定資産      | 351                 | 276                 |
| 投資その他の資産    | 5,013               | 4,789               |
| <b>資産合計</b> | 18,534              | 18,646              |

|                 | 前期末<br>2022年3月31日現在 | 当期末<br>2023年3月31日現在 |
|-----------------|---------------------|---------------------|
| <b>流動負債</b>     | 1,237               | 1,387               |
| 買掛金             | 278                 | 362                 |
| 1年内返済予定の長期借入金   | 116                 | 53                  |
| その他             | 842                 | 970                 |
| <b>固定負債</b>     | 9,264               | 9,188               |
| 長期借入金           | 94                  | 41                  |
| 前払式特定取引前受金      | 8,827               | 8,831               |
| その他             | 342                 | 314                 |
| <b>負債合計</b>     | 10,502              | 10,575              |
| <b>株主資本</b>     | 7,928               | 7,971               |
| 資本金             | 500                 | 500                 |
| 利益剰余金           | 5,480               | 5,516               |
| その他             | 1,947               | 1,954               |
| その他の包括利益累計額     | 104                 | 99                  |
| <b>純資産合計</b>    | 8,032               | 8,071               |
| <b>負債・純資産合計</b> | 18,534              | 18,646              |

■ 連結損益計算書(要旨)

|                    | 前期<br>2021年4月 1日～<br>2022年3月31日 | 当期<br>2022年4月 1日～<br>2023年3月31日 |
|--------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| <b>売上高</b>         | 8,675                           | 9,562                           |
| 売上原価               | 5,946                           | 6,511                           |
| <b>売上総利益</b>       | 2,728                           | 3,050                           |
| 販売費及び一般管理費         | 2,430                           | 2,426                           |
| <b>営業利益</b>        | 297                             | 623                             |
| 営業外収益              | 123                             | 116                             |
| 営業外費用              | 80                              | 71                              |
| <b>経常利益</b>        | 341                             | 668                             |
| 特別利益               | 144                             | 38                              |
| 特別損失               | 184                             | 559                             |
| <b>税金等調整前当期純利益</b> | 300                             | 147                             |
| 法人税等合計             | 150                             | △2                              |
| <b>当期純利益</b>       | 150                             | 149                             |
| 非支配株主に帰属する当期純利益    | 19                              | —                               |
| 親会社株主に帰属する当期純利益    | 131                             | 149                             |

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

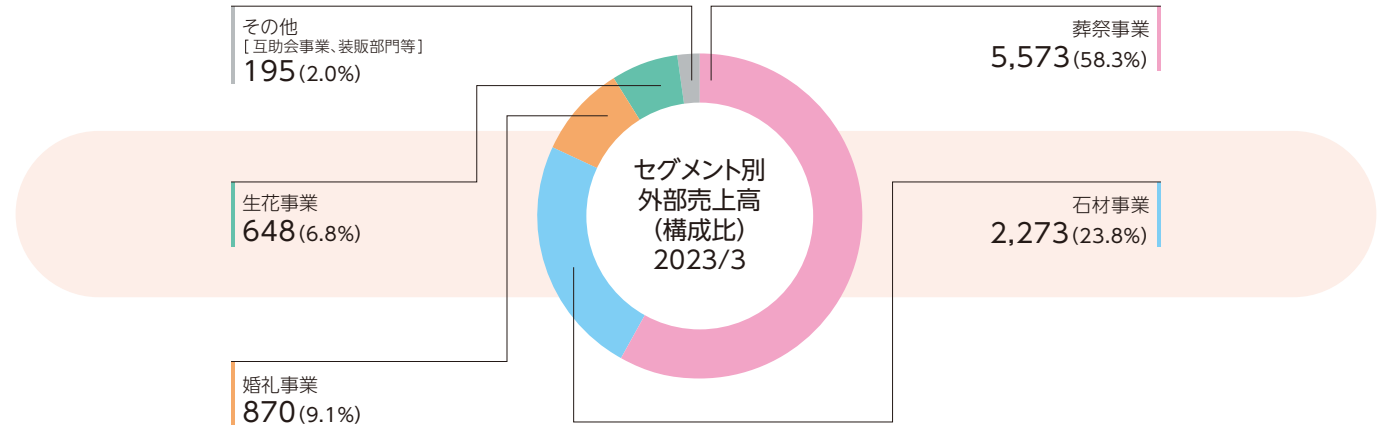
|                         | 前期<br>2021年4月 1日～<br>2022年3月31日 | 当期<br>2022年4月 1日～<br>2023年3月31日 |
|-------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| <b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b> | 870                             | 916                             |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー        | △22                             | △100                            |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー        | △433                            | △235                            |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額        | 1                               | 0                               |
| <b>現金及び現金同等物の増減額</b>    | 415                             | 581                             |
| 現金及び現金同等物の期首残高          | 3,008                           | 3,424                           |
| 現金及び現金同等物の期末残高          | 3,424                           | 4,005                           |

■ 配当政策

当社は、株主に対する利益還元を経営上の重要課題の一つとして位置付け、安定した配当を継続的に実施することを基本方針とし、内部留保資金については、財務体質の強化、今後成長が見込める事業分野への投資、設備投資、研究開発投資、人的資本への投資等、今後の事業展開に備えた経営基盤の強化に活用いたします。2023年3月期の1株当たり年間配当金については、30円(中間配当15円・期末配当15円)といたしました。なお、2024年3月期の1株当たり年間配当金は30円を予定しております。

■ セグメント別外部売上高(構成比)

※単位はすべて百万円、百万円未満は切捨てて表示。



■ 業績・財務コメント

■ 連結貸借対照表

**流動資産**：現金及び預金、有価証券、その他(未収還付法人税等)が増加したこと等により、957百万円増加。  
**固定資産**：繰延税金資産が増加した一方で、建物及び構築物、土地、投資有価証券が減少したこと等により、845百万円減少。  
**流動負債**：買掛金、その他(未払金)が増加したこと等により、149百万円増加。  
**固定負債**：長期借入金が減少したこと等により、76百万円減少。  
**純資産**：利益剰余金が増加したこと等により、38百万円増加。

■ 連結損益計算書

**売上高の状況**：葬祭事業を中心にすべてのセグメントにおいて増収となり、前期比886百万円増加。  
**利益の状況**：国際情勢の影響等で仕入原価や電力料等の上昇が生じたものの、売上高増加に伴う増収等により、営業利益は同325百万円、経常利益は同326百万円増加。また、婚礼会場3施設の閉館及び当該固定資産の譲渡並びに撤去の決定に伴う減損損失を特別損失に計上したことや、法人税等調整額(益)を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は149百万円となりました。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動の結果得られた資金は916百万円、投資活動の結果使用した資金は100百万円、財務活動の結果使用した資金は235百万円となりました。その結果、当期末における現金及び現金同等物は前期末に比べて581百万円増加し4,005百万円となりました。

たまのや 福島県内：葬祭会館 26施設、仏壇・仏具販売店 1店舗 茨城県内：葬祭会館 2施設



With Wedding 福島県内：婚礼会場 4施設



カンノ・トレーディング 福島県内：石材小売店舗 5店舗 長野県内：石材小売店舗 1店舗



北関東互助センター 栃木県内：葬祭会館 5施設



(2023年3月31日現在)

株式の状況

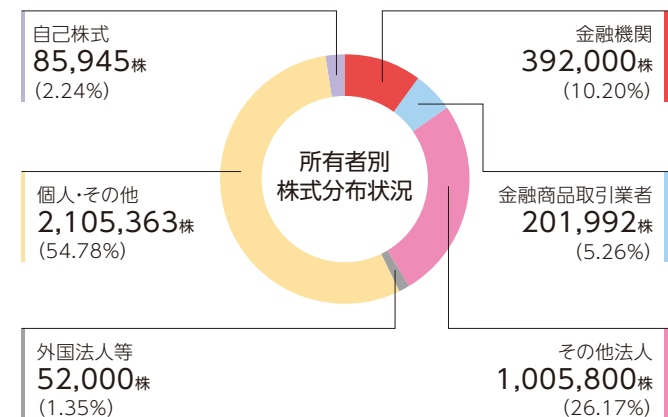
発行する株式の総数 ..... 5,100,000株  
 発行済株式の総数 ..... 3,843,100株  
 株主数 ..... 909名

大株主

| 株主名              | 所有株式数<br>(株) | 持株比率<br>(%) |
|------------------|--------------|-------------|
| カンノ合同会社          | 920,000      | 24.49       |
| 齋藤 高紀            | 425,500      | 11.33       |
| 川島 利介            | 278,775      | 7.42        |
| 株式会社SBI証券        | 187,800      | 5.00        |
| こころネットグループ従業員持株会 | 187,540      | 4.99        |
| 株式会社東邦銀行         | 175,000      | 4.66        |
| 株式会社福島銀行         | 135,000      | 3.59        |
| 水元 公仁            | 103,900      | 2.77        |
| 菅野 孝太郎           | 79,840       | 2.13        |
| 福島信用金庫           | 50,000       | 1.33        |

※ カンノ合同会社は、当社代表取締役社長菅野孝太郎及びその親族の保有資産の管理を行う会社です。  
 ※ 持株比率は自己株式(85,945株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株価・出来高の推移

